

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	人体構造機能論 2
科目基礎情報				
開設学科	医療事務科	コース名		開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 45時間
単位数	3単位	授業形態	講義	
教科書/教材	病気の地図帳/講談社、からだの地図帳/講談社			
担当教員情報				
担当教員	幸 浩基、宇南山 伸		実務経験の有無・職種	有・医師、鍼灸師
学習目的				
<p>人体の基本的仕組みを系統的に理解すること(解剖学、組織学)と、その働き(生理学)を学び、生命の「いとなみ」の基本を理解することを目的とする。そのためには器官・臓器が、構成要素であるどのような細胞、組織から成り立ち、いかに他の器官と連携を持ち、機能的にどのような連携作業をして、人体としてのいとなみに関わっているのかを理解する。これらの知識は、診療記録に記載されている内容の基本的な人体の部位、診断名の理解に必須である。また、疾病の機序や病態の理解、さらには実際に行われる治療手段の理解にも役立つ。</p>				
到達目標				
<p>人の身体を構成している体液・血液、循環器系、呼吸器系、消化器系、非尿器系、内分泌・生殖器系、筋肉、神経系、感覚器系についての生理機能、各器官の機能と役割、これを構成する「細胞」や「分子」のはたらきに基づいて理解し、各器官系の正常な働きの仕組みを理解できる。</p>				
教育方法等				
授業概要	人の身体を構成する部位の名称、機能、働きを図を交えて分かりやすく説明する。			
注意点	<p>人の身体の仕組みを理解するには、まず、どこに何かあり、どんな動きをしているかを知るところからである。授業の中では図も交えながら、部位の名前、機能を説明する。</p> <p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状態により内容が前後する場合がある。</p>			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	90%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	5%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	5%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	消化器の構造と機能（1）	食道について理解できる		
2回	消化器の構造と機能（2）	胃・十二指腸について理解できる		
3回	消化器の構造と機能（3）	胃・十二指腸について理解できる		
4回	消化器の構造と機能（4）	小腸・大腸について理解できる		
5回	消化器の構造と機能（5）	小腸・大腸について理解できる		
6回	消化器の構造と機能（6）	肝臓について理解できる		
7回	消化器の構造と機能（7）	胆嚢について理解できる		
8回	消化器の構造と機能（8）	膵臓について理解できる		
9回	消化器の構造と機能（9）	腹膜について理解できる		
10回	消化器の構造と機能（10）	腎臓について理解できる		
11回	泌尿器系の構造と機能（1）	膀胱について理解できる		
12回	泌尿器系の構造と機能（2）	生殖器系の構造と機能・受胎のメカニズム		
13回	上肢・下肢の骨と筋肉（1）	上肢の骨と筋肉について理解できる		
14回	上肢・下肢の骨と筋肉（2）	下肢の骨と筋肉について理解できる		
15回	まとめ	これまでの授業のまとめが理解できる		